

夏ノ四表

世をいとふ人としきけはかりの宿に

こゝろとむなとおもふばかりそ

名をえたる山の花なれはさこそおもしろ

かりけめこけのむしろの上に岩根へいはねに枕へまくら

をかたふけてさすがにいけるいのちの便へたより

は谷へたにの清水へしみづを結へむすひ峯へみねの木へこのみをひろひ
て

寂寞無人聲讀涌此經典へじやくまくむにんじやうどくじやしきやうでん
とよみてにうをしんせんしゆいぶつ道へだう